おさらいシート

1. 避難行動のシミュレーションをしてみよう

①避難のタイミング

- 市が自主避難所を開設したタイミング
- 市から高齢者等避難が発表されたタイミング

②推奨される避難行動

- 事前に安全な親戚、知人宅への避難をする
- 事前に離れた浸水想定のない開設している避難所への避難
- 最短ルート以外の方法も検討

2. 破堤後の緊急安全確保シミュレーションをしてみよう

③緊急安全確保について

- **緊急安全確保の定義**

  災害が発生又は切迫している状況、即ち居住者等が身の安全を確保するために指定緊急避難場所等へ立退き避難することがかえって危険であると考えられる状況において、いまだ危険な場所にいる居住者等に対し、「立退き避難」を中心とした避難行動から、「緊急安全確保」を中心とした行動へと行動変容するよう市町村長が特に促したい場合に、必要と認める地域の必要と認める居住者等に対し発令される情報である。

- **緊急安全確保の際に取るべき行動**

  「緊急安全確保」が発令された際には、立ち退き避難から行動を変容し、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、その時点でいる場所よりも相対的に安全である場所へ直ちに移動等することが必要です。

④破堤後の想定行動（例）

- **家屋倒壊等氾濫想定区域外**

  自宅・施設等の少しでも浸水しにくい高い場所に緊急的に移動したり、近隣の相対的に高い建物等に緊急的に移動する

- **家屋倒壊等氾濫想定区域内**

  鉄骨の自宅・施設等の少しでも浸水しにくい高い場所に緊急的に移動したり、近隣の相対的に高く鉄骨の建物等に緊急的に移動する